

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	ヤマト運輸株式会社	事業所名	北東京主管支店				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02	モーダルシフトの推進 ()	通運支店におけるJRコンテナでの輸送の実施			○	○	○
03	物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ()	デジタル化による車両別での二酸化炭素排出量の把握			○	○	○
04	積載率の向上 (01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	ボックスパレットによる積載量のコントロール・宅急便サイズの規格の設定			○	○	○
04	積載率の向上 (02) 梱包資材の軽量化・小型化の実施	環境配慮の資材開発(資材開発を業務とするグループ会社との連携)			○	○	○
04	積載率の向上 (03) 輸送量に応じた適正車種での発注	方面別流動量の把握による適当な運行車の手配			○	○	○
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施 (01) 混載便利用の取組	方面別での積み合わせの実施			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 混載便の利用又は共同輸配送の実施 (02) 他者との共同輸配送の取組	流動量の変化に合わせた他運送会社との共同配送実施	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (01) 貨物輸送事業者に対し、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車の利用を推奨	安全・エコナビゲーションシステム「See-T Navi」の開発・積極的導入	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (02) 貨物輸送事業者に対する低燃費車等の使用状況の確認	低公害車(電気自動車・ハイブリット車)の積極的導入	○	○	○
06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	「See-T Navi」※導入によるエコドライブ評価の実施 (※「See-T Navi」2010年3月導入のヤマト独自の車載管理システム)	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発送締め切り時間の設定	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	荷量に応じて発送集約場所の変更(小規模店の集約)	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (03) 道路混雑時の輸配送の見直し	全国ベース店(大型荷捌き所)での道路交通状況の把握	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 計画的な貨物輸送の推進 (04) 輸送トラックの待ち時間の削減</p>	<p>事前のスケジュールに従った着車時間の管理</p>	○	○	○
<p>08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用</p>	<p>荷主より保管・配送・情報管理を一括受託し高効率な在庫管理から配送までを提供することで、省エネルギー化に取り組んでいる。(集中月:6月・7月・11月・12月)</p>	○	○	○
<p>08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用</p>	<p>グループ会社(ヤマトロジスティクス)での保管マージ・ピッキングの実施</p>	○	○	○
<p>08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組</p>	<p>ボックスパレットの方面別の積み合わせ、夜間発送</p>	○	○	○
<p>09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()</p>	<p>全国ベース店での共有システムによる情報共有・配車連携での高効率化</p>	○	○	○
<p>10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()</p>	<p>台車・電動自転車での集配、及びバス停集配方式※による駐車回数の削減(※バス停集配方式:車両で集配を行っている間に、途中で降ろした補助要員が台車で集配する方式)</p>	○	○	○